

情報通信審議会 情報通信技術分科会（第70回）議事概要

1 日時 平成21年11月24日(火) 16時00分～17時10分

2 場所 総務省第1特別会議室（8階）

3 出席者

（1）委員（敬称略）

坂内 正夫（分科会長）、相澤 彰子、青木 節子、荒川 薫、
鈴木 陽一、広崎 膨太郎、村上 輝康

（以上7名）

（2）専門委員（敬称略）

安藤 真、藤原 修

（3）事務局

白川情報通信国際戦略局情報通信政策課管理室長

（4）総務省

（情報通信国際戦略局）

奥技術政策課長

（総合通信基盤局）

桜井総合通信基盤局長、吉田電波部長、山田基盤局総務課長、
竹内移動通信課長、岡野電波環境課長

4 議 題

（1）答申事項

「UWB（超広帯域）無線システムの技術的条件」のうち「準ミリ波帯を用いたUWBレーダシステムの技術的条件」に関する一部答申について【平成14年9月30日付け 情報通信技術分科会諮問第2008号】

審議の結果、本技術的条件について一部答申を行った。

【内容】

本件は、当該準ミリ波帯を用いたUWBレーダシステムについて、既存の無線システムとの共用条件や要求されるレーダの性能を満たすための条件について検討を行い、その結果を技術的条件として取りまとめたもの。

(2) 報告事項

- ア. 「ITS無線システムの技術的条件」のうち「79GHz帯高分解能レーダの技術的条件」について【平成21年7月28日付け 情報通信技術分科会諮問第2029号】＜審議開始＞

ITS無線システム委員会事務局より報告があった。

【内容】

人や自転車等の小さな対象物の検知が可能で、長距離・短距離とも対応可能なマルチレンジの高分解能車載レーダの実現のため、79GHz 帯周波数を使用する高分解能レーダの技術的条件について審議を開始するもの。

- イ. 「小電力の無線システムの高度化に必要な技術的条件」のうち「デジタルコードレス電話の新方式の技術的条件」について【平成14年9月30日付け 情報通信技術分科会諮問第2009号】＜審議開始＞

小電力無線システム委員会事務局より報告があった。

【内容】

デジタルコードレス電話について、周波数の有効利用を図りつつ、高速データ通信等の新たなアプリケーションを利用可能とする新方式の実現のため、デジタルコードレス電話の新方式の技術的条件について審議を開始するもの。

- ウ. CISPRの審議状況及びリヨン会議の結果等について

CISPR 委員会主査より報告があった。

【内容】

本件は、通年で行われている CISPR での審議のうち、昨年10月の CISPR 大阪会議の後から、本年9月の CISPR リヨン会議の前までの約1年間における主な審議状況について報告を受けたもの。

また、併せて CISPR リヨン会議の結果についても報告があった。

本会議にて配付された資料をご覧になりたい方は、総務省HPにおいて公開しておりますのでご覧ください。

また、総務省において、閲覧及び貸し出しを実施しておりますので、下記までご連絡をお願いいたします。

担当：総務省 情報通信国際戦略局 管理室 調整係 猪飼、中根

電話 03-5253-5957 FAX 03-5253-5945

メール [jyouhoutuusin-singikai <@> soumu. go. jp](mailto:jyouhoutuusin-singikai@soumu.go.jp)

迷惑メール防止対策をしているため、<@> を@に置き換えてください。